

2022年10月18日

世田谷プラットフォーム協議会 御中

国土舘大学

「【地域の教育支援活動】世田谷区立教育総合センターSTEAM 教育事業」実施報告

世田谷区の児童・生徒を対象とした「【地域の教育支援活動】世田谷区立教育総合センターSTEAM 教育事業」において、「地図で知る世田谷の地形」を10月8日に実施した。

本取組は、世田谷プラットフォームが地域活性化を目的に、世田谷区及び産業界と共同で企画の上、実施する事業で、区内6大学がそれぞれもつりソースを活かし講座を展開している。

今回の講座「地図で知る世田谷の地形」は、国土舘大学文学部史学地理学科の長谷川均教授が講師として小学5年生～中学3年生を対象に開講し、当日は14名の児童・生徒が参加した。内容としては、まず海面変動に連動した地形の形成、それに伴う台地や平野の成り立ちを説明し、世田谷地域が東京都の西側に広がる武蔵野台地に位置するなど、地形の概要や特徴についてスライドを示しながら紹介した。その後、約100年前の世田谷地域の地図から「田」の地図記号が書かれている範囲をマーカーで塗り、田がどのような場所にあったか、景観の復元作業を実施した。そこから台地の中の川に沿って広く田が分布していたことを読み解き、現在の地図と比較して、田であった場所が現在どのような土地として利用されているかを確認した。最後に、世田谷地域は高台に位置するものの、浅い谷やくぼ地が点在していると指摘し、これまでに水害などの自然災害に見舞われたことがあったことから、今後もし災害が発生したときにどのような行動をすればよいか、しっかり把握してほしいと呼びかけた。参加した児童・生徒からは「昔は多くの川があったことに驚いた」、「世田谷地域の土地の変化を知ることができて良かった」などの感想が聞かれ、長谷川教授に質問するなど意欲的な参加者が多かった。

当日の共同運営参加者は以下の通り。

国土舘大学（文学部史学地理学科 長谷川均教授、補助学生2名、学長課 松崎泰樹、
広報課 松村康平）
地方自治体・産業界：世田谷区教育委員会、株式会社そごう・西武

当日の様子

